

令和3年2月19日

保護者の皆様、在校生の皆さん

秋田県立仁賀保高等学校
校長 小園 敦

コロナ禍における健康、安全・安心の確保について（お願い）

新型コロナウイルス感染症への対応に関して、保護者の皆様から感染対策の基本事項を踏まえた、検温やマスクの着用、三密の回避に関する指導を含めたご協力をいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで生徒は、新しい生活様式を意識して学校生活を送っています。これもご家庭での指導の賜物と感謝しております。

さて、令和2年度も残すところ1カ月余りとなりました。今年度仁賀保高校では、「生徒の健康、安全・安心の確保」と「学習権の保障」を基本に、教職員一丸となって、生徒、保護者のご理解をいただきながら、他校では体験できない教育内容を取り入れ、生徒の学力向上と人間教育に努めて参りました。

学校では、コロナ対応の他に、熱中症対策等で、生徒の健康や安全、保護者の安心を第一に考え、一斉メールを発信し、ご理解とご協力をお願いして参りました。

年末年始の大雪や、2月13日（土）23時08分に発生した地震、さらには度重なる暴風雪に伴う公共交通機関の乱れにより、登下校時にご不便をおかけしております。

2月16日（火）17日（水）、強風のため公共交通機関が動かない状況で、生徒は保護者の指導とご協力のもと、工夫して対応していただき、普段とは異なる通学手段を確保して登校してくれました。授業の大切さを理解し判断していただいたことに対し、感謝申し上げます。

このように、事前に予測できる自然災害等への備えや構えを持つことは、生徒自らが考えて判断し行動できる高校生になり、本校がめざす人間像、すなわち周囲に気遣いを持ち、地域に貢献する決意と行動に、「生きる力」となって「見える化」してきます。

保護者の皆様におかれましては、大人に成長していく高校生を、時には厳しく支えていただき、代替方法の選択に助言と支援をお願いします。

交通事情により、どうしても登校できない時は、これまで同様にご連絡をいただき、保護者の皆様と教職員の信頼関係を深めてゆきましょう。

仁賀保高校では、今後も生徒が他校では経験できない「人としてのあり方、生き方」や「協働による他者の尊重」など、「貴重な学び」の提供をめざして、学習内容や方法を工夫・改善して参ります。

生徒の皆さんにお願いします。学校では、生徒のみなさんが権利として持っている学習権を制限することは極力避けたいと思っています。緊急事態や自然災害等「特別な配慮」によって皆さんの健康、安全・安心の確保を第一に考え判断した場合を除いて、学校は、皆さんの学習権を保障するため、通常通り授業を計画いたします。また、本校の特性を活かした、メディアの力を使って、家庭でも授業や課題、連絡が十分できるように研究開発を進め、一部実践しています。

生徒の皆さんには、仁高生としてのプライドを忘れず、公共心を働かせた行動をお願いします。「心、思い」は見えないが「心遣い、思いやり」は諸君の振る舞いとして、相手（世間）に見えるのです。自らを厳しく見つめ、師友が待つ学び舎へ登校してください。

コロナ禍で自然災害等が発生している現在、不安感を含め、心配ごとも多いと思います。今後とも保護者の皆様と連絡を密にして、柔軟に対応して参ります。何かありましたら、ご遠慮なさらずに学校に連絡や相談をお願いします。

本校では、一斉メールやホームページを活用して迅速な情報発信に努めております。具体的な内容等が不明な場合は、ご遠慮なさらずに学校にご連絡ください。

【連絡先】

秋田県立仁賀保高等学校
電話 0184-43-4791